

鏡野町出身で夢をかなえた方による講演 〜児童・生徒夢づくり事業〜

10月20日(木)、鏡野中学校講堂で児童・生徒夢づくり事業として、漫画家のnamoさんによる講演が行われました。この事業は鏡野町出身者で自分の夢を実現した方に登壇いただき、どのように夢を実現させたのか、そのために何が必要だったかなどを話してもらうことで子どもたちに夢を持ち、進路実現のヒントを感じてもらうため、平成26年から行われているものです。今年度は将来の夢・なりたい職業の中でも人気の漫画家であるnamoさんにお話をいただきました。

namoさんは南小学校、鏡野中学校、津山高専と進学した後京都精華大学へ編入されました。そこで漫画活動を行っている際に株式会社エンターブレインから声がかかり、プロ漫画家としてデビューされ、現在もハルタコミックスで『クルムの花嫁』を連載されています。

namoさんは講演の中で「夢を実現させるためには、夢をかなえられ環境に自ら飛び込んでいくことが一番大切です。その環境に入ることができれば、同じ目標を持つているたくさんの仲間と出会え、共に切磋琢磨して目標に向かっていきます。一方、将来の目標がまだ定まっていな人は、たくさんの選択肢が持てる進路を目指せばよいと思います。そうすれば、いざやりたいことが見つかった時、次のステップに進むチャンスが広がります。そして、やりたいことが見つかったら、実現までのロードマップを作ってほしいです。ゴールから逆算して、どの学校でどういう勉強をしてどういう道に進めば目標を達成できるかを考えれば、今自分が足りていないか、どういう勉強をすればいいかが見えてくるからです。もう一つ大事なことで、いろいろなことに挑戦して知見を広げてほしいです。今まで触れてこなかったものに触れることで新しく見えてくるものはとても多いと思いますので、学生の遊べるうちにたくさんのことに挑戦してほしいと思います。」と話されていました。

また、講演では、漫画ができるまでの作業工程の話や編集の仕事についての話、取材の話といった、普段から馴染み深い漫画の裏側についても話題に上がり、生徒たちは真剣に、そして興味深そうに聞いていました。講演が終わり質疑に移ると、生徒からは「漫画を1話描くときどれくらい時間がかかりますか」や「絵を描くコツをおしえてください」など時間いっぱい手が上がり続けていました。

今回の講演は生徒たちが将来を考えるひとつのきっかけとなったことでしょう。



令和4年度 鏡野町文化祭

10月29日(土)、30日(日)の2日間、鏡野町立中央公民館にて3年ぶりととなる鏡野町文化祭が開催されました。

作品展示では、日頃の自慢の作品が多数展示され、来館者を魅了していました。

30日(日)の芸能発表では、鏡野町文化協会に所属する9部70名の会員が日頃の練習の成果を披露し、会場からは大きな拍手が送られていました。



青少年健全育成功労者 岡山県知事表彰を受賞

11月11日(金)、岡山県庁で令和4年度岡山県青少年健全育成功労者表彰式が開催され、小林洋榮さんが岡山県知事表彰を受賞されました。

小林さんは平成22年4月から青少年相談員として活動され、中学校での部活動指導やスポーツ少年団での指導、登下校時の挨拶運動などを通じて、地域の子どものたちの見守りを行ってこられました。また、子どもや家族、地域のつながりを作り、子どもたちを支援する活動も行われています。

これらの長年にわたる積極的な活動の功績が認められ、今回の受賞となりました。

